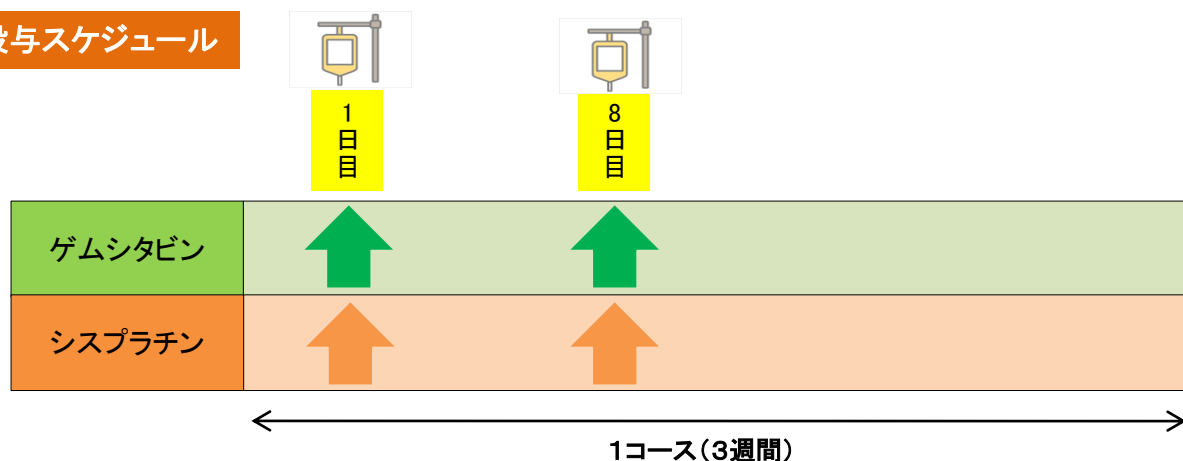


ゲムシタビン＋シスプラチン療法を受けられる方へ

ゲムシタビン＋シスプラチン療法は胆道癌に対する治療法です。

投与スケジュール



3週間を1コースとして繰り返します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。

※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日～数日	●過敏症	●発熱	●血管痛・静脈炎
治療数日～数週間	●白血球減少 ●吐き気・嘔吐	●血小板減少 ●下痢	●疲労感 ●発疹
治療数週間～数ヶ月	●貧血	●脱毛	

◇血管痛・静脈炎：疼痛、発赤、腫れ

点滴中および投与後に、注射部位が痛んだり、腫れてきた場合はすぐに医療スタッフにお知らせください。

◇吐き気、嘔吐、食欲不振

消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べたりするようにしましょう。また、スポーツ飲料などで、十分な水分摂取を心がけましょう。

◇白血球減少：発熱、寒気、咳、のどの痛み、頭痛

38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。

外出時はマスクを着用し、人混みを避けましょう。

手洗い、うがいをこまめにしましょう。

怪我をしないように注意しましょう。もし怪我をした時は十分に手当てをしましょう。

◇血小板減少

出血しやすくなり、軽くぶつけただけでも内出血が起こります。激しいスポーツなどは避けて、ケガや転倒をしないように気を付けましょう。

身に覚えのない内出血、鼻血などの出血がみられたら、すぐに受診してください。

◇貧血

立ちくらみや冷や汗などを避けるために、急に立ち上がるなどせずに、ゆっくりとした動きを心がけましょう。

◇疲労感

「疲れる」「だるい」「身体が重い」といった症状が現れることがあります。無理せず体を十分に休め、体を冷やさないようにして、体力を保つようにしましょう。

◇発疹

細かく赤いかゆみのある斑点ができたり水ぶくれができたりします。

◇腎障害：頭痛、尿量変化、むくみ、ふるえ、痙攣

投与後数日は水分をできるだけ多くとり、尿量を増やすことで予防できます。尿量の変化、むくみなどの症状が少しでも出た場合は、医療スタッフにご相談ください。

◇肝機能低下

AST、ALTといった検査値が上昇することがあります。